

## 「チャップリン」の映画は、 チャップリンの一生を3時間くらいで見せてしまいます

毎朝の通勤、ご苦労さまです。(偶然ですが)今朝、  
電気屋さんの軒先のツバメの巣に、4羽のヒナがいるのを発見しました！  
(まだ、小指ぐらいの大きさがカワイイです)

普段はせわしない通勤途上でも、例えば  
「あれ？ここにコンビニができるんだ」という発見があったりしますよね。  
それが【変化】というものです。

市場(マーケット)の数字、株価の変動というものは、  
たまに見ますと何らかの「示唆」を与えてくれますが、  
【毎日毎日見続けて、プラスになることなんて全然ない】  
とわたしは思っています。

なぜなら単純に、「時間のサイクル」が短すぎるからです。  
(毎日毎日とは、1日単位です)  
資産運用を行う者にとって、これは「百害あって一利なし」なのです。  
あなたは何のためにお金を育てているのですか？(目的・・・)  
その作業はどれくらい続くのですか？(運用期間・・・)

例えば「チャップリン」という映画は、チャップリンという人の一生を  
(なんと)3時間くらいで見せてしまいます。  
チャップリンは88歳まで生きましたから、  
彼の「1歳分」は(なんと)2分あまりなのです(笑)

ここで【命題】  
資産形成を目的とする私たちが、  
毎日の、あるいは毎時間の「情報」を逐一追いかけて、  
何の意味があるのでしょうか？

「情報」を時系列的に入手する唯一の理由は、  
本質的な【変化】を捉えるため。それだけです。

投資に関して、短い時間の単位で「情報」を送る側には、

「情報の送り手」としてそれなりの 思惑 があります。  
特に テレビ というメディアは、一日中なんらかの「情報」を  
流し続ける 宿命 を負わされています。

例えば、毎日のマーケット（いちば）の動きを、  
冒頭の「通勤風景」で喩えるとこんな感じです。

↓

「はい、わたくしカンは本日7時43分に、  
喫茶室ルノアールの前を 右45度の角度で曲がりました。  
ルノアールには現在 5名のお客が入っています。

そして、コクミン薬局の隣の花屋さんは（昨日より5分遅く）  
7時52分にシャッターを開けました。

カンは地下鉄の入り口に、7時58分に到着。  
本日は、後ろから2両目の真ん中のドアから列車に乗りました・・・」

みたいなことを、  
さも「重大な情報」のように流し続けているのです。

マス・メディア は、  
たった1日の中でも、さまざまな「ドラマ」を作り出し、  
それを演出する必要があるのです。  
（それが彼ら/彼女らの 仕事 ですから・・・）

ただ、あなたは

● メディアと同じ「時間軸」を持つ必要はないのですよ（ここ、重要！）

あなたの仕事（資産形成）は、  
マス・メディアの仕事とは、まったく違うわけですから・・・。

アメリカでは CNBC、ブルームバーグなどの  
「24時間マーケット情報番組」が人気を集めています。  
わたしも時々見ますが、彼らはなんとか  
短い時間軸の「サーカス」を盛り上げようと懸命です。

実際、CNBCなどが人気を博し始めて、  
投資家の「短期売買志向」が強まった、というデータが出ています。

ちょっと視点を変えてみましょう。  
例えば、それが資産運用ではなく、  
皆さんのお仕事【職業】ならどうでしょうか？

ある事業、もしくはプロジェクトを組む場合、  
そのニーズ・採算等を占うために、1年後、3年後、5年後という  
「時間軸」を持ちますよね？

例えば、5年後の事業成長を予測して、  
ライバル企業との「比較」を行ったりもします。  
設備投資もそうです。

何年も先の生産個数、売上高、コスト等をはじき出して、  
この投資が本当に見合うものなのかどうかを判断します。

あるいは人事部におられる方。  
ヒトという資産を、  
やはり「長期の時間軸」で捉えられますよね。

なぜ、金融商品を購入する場合に、  
3年、5年、10年という  
「時間スパン」が持てないのでしょうか・・・？

● 資産運用とは、あなた自身が主人公の、  
ひとつの壮大な事業、プロジェクトなのです。

「時間軸」をどれくらいの長さで持てるのか？この一点で、  
資産形成の優劣は半ば決まってくるとわたしは思います。

(ちなみに)かのウォーレン・バフェット氏は、  
「明日から5年間マーケットが閉まっても、  
わたしは一向に構わない」と言っています。